

# 和光市内循環バスの現状について

## ■ 市内循環バス利用者数

| 令和5年度    | 令和6年度    | 前年度比   |
|----------|----------|--------|
| 155,029人 | 164,305人 | 約5.9%増 |

※地域公共交通計画における目標値:181,000人

## ■ 市内循環バスの運賃収入(税抜)

| 令和5年度      | 令和6年度        | 前年度比  |
|------------|--------------|-------|
| 923万9,874円 | 1,793万4,607円 | 約94%増 |

## ■ 市内循環バスの収支率（目標値：35%）

| 令和5年度 | 令和6年度 | 前年度比  |
|-------|-------|-------|
| 13.7% | 20.8% | 7.1%増 |

※地域公共交通計画における目標値:35%



運賃収入の増加により収支率は改善されたが、目標値の35%は未達  
更なる運賃収入の増収を図るため、利用者の利便性の向上が課題

# 定額乗車券導入検討の経緯

## ■検討の経緯

- 和光市地域公共交通計画における事業である、「市内公共交通等のサブスクリプション（定額制）化の検討・研究」による、市内循環バスの利便性向上策を検討
- 一般利用者や優待乗車証利用者が乗車する際の都度払いによる手間が課題となっていることから、市内循環バスでの定額利用券の導入について検討
- 和光市公共交通研究会による市民との意見交換では、優待乗車証の都度払いにも慣れ、定額乗車券の導入意向は低いとの意見だった
- 市内循環バス利用者の約6割が一般利用者であることを考慮し、一般利用者向けに電子チケットによる実証事業を検討

※和光市内循環バス利用者数（令和6年度）

| 一般      | 優待      | 合計       |
|---------|---------|----------|
| 97,883人 | 66,422人 | 164,305人 |

# 定額乗車券導入検討の経緯

## ■定額乗車券の導入方針

- 販売窓口の設定や購入時の金銭の取扱い（現金、電子決済、クレジットカード）等が課題であることから、スマートフォンを活用した電子決済の検討
- 事業開始までの効率性や定額乗車券を印刷する費用等の削減、将来的な展開性等を考慮し、アプリやインターネットを活用した電子チケットの導入を検討
- 対象者は一般料金の利用者であることから、主に通勤利用を想定し、利用期間を区切った定期券タイプの定額乗車券の導入について実証を行う



- 実証事業の利用状況や効果、課題等を抽出し、必要に応じて制度の見直しを検討する
- 実証事業及び評価検証作業を重ね、将来的には優待乗車証利用者に向けた定額乗車券の導入に向けた検討を行う

※電子チケットのイメージ



小山市

田川市

# 販売価格の検討

## ■価格検討の基本方針

- 一般利用者のうち、市内循環バスをほぼ毎日利用する方をメインターゲットとする
- 和光市地域公共交通計画の事業、「路線バスと市内循環バスの運賃格差の是正」より、当該定額乗車券についても、路線バスの定期券価格との運賃格差が生じない価格設定とする
- 優待乗車証制度による利用料金との価格差についても配慮する



- 毎日のように利用する方にとってメリットのある価格でありながら、近隣の路線バス事業者の定期券価格や優待乗車証制度の利用料金も考慮し、割引割合が大きすぎる価格とならないような検討が必要となる
- 安すぎる設定の場合、和光市内循環バスの収支にも大きな影響を与えることとなる

# 販売価格の検討

## ■自己負担額の整理

販売価格検討の参考として、市内循環バスを週5回以上利用した場合の自己負担額を積算した

|       | 1ヶ月     | 3ヶ月     | 6ヶ月     |
|-------|---------|---------|---------|
| 週5日利用 | 7,200円  | 21,600円 | 43,200円 |
| 週6日利用 | 8,640円  | 25,920円 | 51,840円 |
| 週7日利用 | 10,080円 | 30,240円 | 60,480円 |

## ■近隣バス事業者の定期券金額

基本方針である、路線バスの定期券価格との格差が生じない価格設定を考慮し、市内循環バスの運賃と同じ、180円区間における金額式定期券の価格を整理した

|          | 1ヶ月    | 3ヶ月     | 6ヶ月     |
|----------|--------|---------|---------|
| 東武バスウエスト | 8,100円 | 23,090円 | 43,740円 |
| 西武バス     | 8,100円 | 23,090円 | 43,740円 |

# 販売価格の検討

## ■販売価格

これまでの検討をもとに、下記のとおり販売価格を想定する。

|         | 1ヶ月    | 3ヶ月     | 6ヶ月     |
|---------|--------|---------|---------|
| 定額乗車券価格 | 8,100円 | 23,090円 | 43,740円 |

## ■販売価格決定の要因

- 毎日のように利用する方にとってメリットのある価格であること
- 路線バスの定期券価格との格差が生じない価格であること（近隣バス事業者の定期券金額と同額）
- 優待乗車証利用者の利用料金との価格差もあること

※6ヶ月の価格で、市内循環バスを週7日利用した場合の運賃は約243円／日（往復）

# 効果及び評価検証等

## ■定額乗車券の導入により期待される効果

- 市内循環バスの利便性向上
- 定額乗車券を購入した利用者の乗車機会創出に伴う、利用者数の増加



- 実証期間終了後、当該事業における効果について評価・検証を行う  
〔評価項目の例〕 優待乗車券の購入者数及び販売額、市内循環バスの延べ利用者数、満足度（利用者、市民、事業者）など
- 課題や改善点等を整理し、次期実証期間に向けた見直し事項等について検証を行う

# 導入スケジュール

- 本事業は実証事業として、第1期実証期間（令和8年1月～6月末）と第2期実証期間（令和9年1月～6月末）に分け、各期間において評価・検証を行う。
- 価格や販売方法等について評価・検証を行い、段階的な改善・改良を実施していく。
- 第2期実証期間終了後は、実証結果を踏まえ、優待乗車証利用者に向けた制度等についても本格導入の可否等について検討する。

